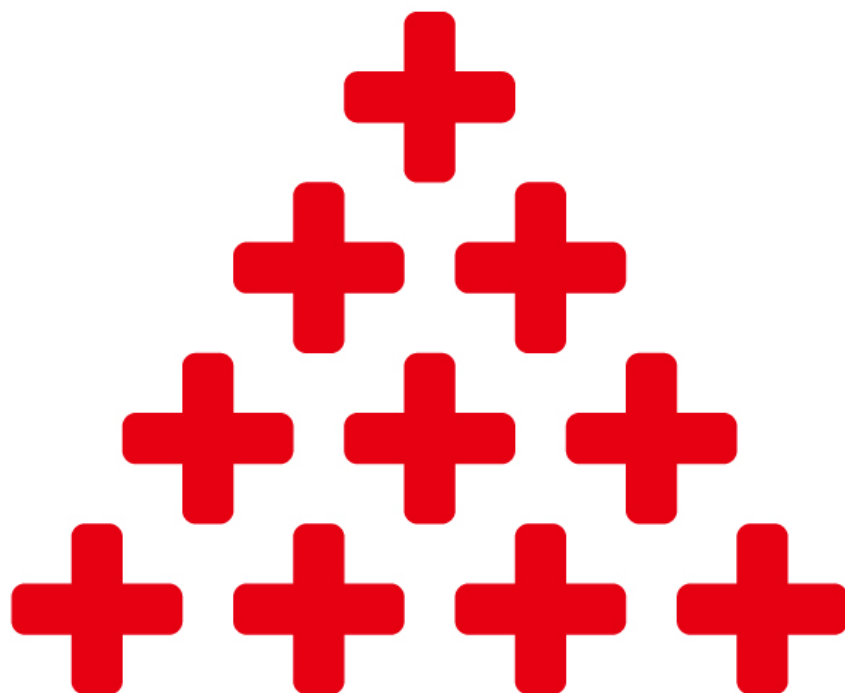


高山赤十字病院 広報誌

Vol.59

令和5年
新春号

日赤たいむ



高山赤十字病院

100周年
1922-2022



- 新年のご挨拶
- 大規模災害訓練
- 栄養課おすすめ簡単レシピ
- 職員募集のお知らせ
- 100周年特集
- 新任医師の紹介

新年のご挨拶

高山赤十字病院
病院長 清島 満



新年明けましておめでとうございます。新年の厳粛な冷気に触れ、心機一転新たな気持ちで今年も臨みたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの第8波は昨年11月下旬から徐々に上昇カーブを描いていますが、第7波よりも立ち上がりが緩やかで未だピークアウトが見通せない状況です。年末年始は医療機関、医師会、行政が一体となって発熱外来の対応をしています。特に今冬は季節性インフルエンザとの重なりが心配されますが、何とか乗り切れるよう検査キット備蓄の確認など対応準備に追われています。昨秋は当院でもプチクラスターが2回発生し、診療の一部を制限せざるを得ませんでした。このオミクロン変異株B5の強烈な感染力に全国の医療現場は翻弄されていますが、軽症例がほとんどなので政府は感染症分類第2類相当から第5類相当への変更を検討し始めたようです。インフルエンザと同様の処置法になれば現在の混乱もある程度収まってくると思います。

これには各医師会の先生方のご理解とご協力が不可欠であることは言うまでもありませんが、それと同時により効果的なワクチンとインフルエンザに対するタミフルやゾフルーザのような特効薬の開発が急がれます。

現在、当院の病院玄関前では若い女性スタッフ(コンシェルジュ)が降車した外来患者さんや車椅子の患者さんを玄関口へ案内していますが、今年(開始時期は未定)はそれに加えて高山市赤十字奉仕団の方々にボランティアとして院内介助をしてもらうことを計画しています。玄関口から病院受付および各科外来までの誘導、さらに車椅子の患者さんのサポートもしてもらう予定です。患者さんあるいは付き添いの方で、もしそのほかに手伝ってもらいたいことがあれば気軽にボランティアのスタッフに声をかけください。笑顔で対応致します。笑顔はどのような場合にでも私たちに精神的な安らぎを与えてくれます。当院には患者さんに対する職員の合言葉として「誠意(まごころ)」「微笑(ほほえみ)」「仁術(おもいやり)」があります。私たちの笑顔で不安を抱えた患者さんにささやかな安らぎを感じていただくことを願っています。

ところで昨年11月1日の当院創立100周年記念式典後の11月16日に第1回新病院建設協議会を開催し、新しい病院を建設する検討を開始いたしました。この会には高山市など行政の方や市民代表の方々に加わって頂いており、どのような病院が望ましいのかそれぞれの立場からのご意見を伺っているところです。病院創立100周年のコンセプトは「地域と創る健やかな未来 Next 100 years」です。過去の100年を振り返るのはもちろん大切ですが、次の新たな100年に向けてのメッセージはさらに重要です。地域の方々が健やかに過ごし、将来もこの地域で住みたいと思ってもらえることが大切であり、それを実現する医療を目指したいと思います。100周年を迎えたこの機に皆様からの厚い信頼と期待にお応えべく、質の高い医療を維持しつつ「故郷を守る医療を目指して」を合言葉として職員が一丸となって地域医療に取り組んでまいります。

今年も皆さまが笑顔で健康に過ごされますようお祈りするとともに、今後とも当院へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

100周年を迎えました！



当院は令和4年11月1日に創立100周年を迎えました。
今号では、記念式典を始めとした様子をご紹介します。

記念式典



令和4年11月1日に記念式典を開催しました。関係各所から祝辞をいただいたのを始め、鏡開き、森下町獅子舞保存会による獅子舞が披露されました。

動画



当院の100年を振り返る、今後の100年への決意を込めた動画を作成しました。以下のQRコードより視聴可能です。



記念誌



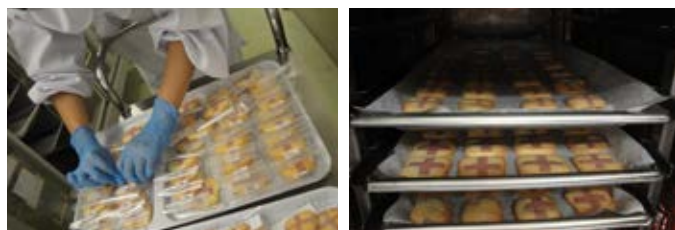
現在鋭意作成中です。当院のことをより知ることができるよう内容になっています。完成をお楽しみに。

グッズ



クリアファイルなどのグッズを作成中です。

記念食



栄養課にて記念食とクッキーを用意し、入院患者さんに食べていただきました。

月刊さるぼぼ11月号



地域みっちゃく生活情報誌®月刊さるぼぼ(令和4年11月号)で特集を組んでいただきました。

SNS

Facebook、Instagramで当院の情報を発信中！
ぜひご登録をお願いいたします。



facebook



Instagram

高山赤十字病院大規模災害訓練を実施しました！



当院は、岐阜県より地域災害拠点病院に指定されており、大規模災害時には災害医療活動の指導・調整や傷病者受け入れ態勢の確保、災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣を行い、地域の中心的役割を担っています。本年度は実動訓練として、令和4年10月28日(金)15時30分と、17時30分に高山大原断層帯を震源とする最大震度7、M7.1の地震が発生したと想定し、訓練を実施しました。コロナ禍における、感染対策を十分に検討し、「いついかなるときも、命を守る」という理念をもって訓練にあたりました。

今後も地域における災害医療体制の維持・向上のため、継続して訓練を行っていきます。





新任医師の紹介



内科

亀井 真琴

10月より着任しました、内科の亀井です。
飛騨地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。



脳神経外科

花木 健貴

12月より着任しました脳神経外科の花木です。
飛騨地域の医療に貢献できるよう精進いたします。
よろしくお願いいたします。



内科

正村 友基

10月より着任しました、内科の正村知基と申します。
キャンプ、スキー、温泉が好きです。
地域の皆様に早く受け入れてもらえるように頑張ります。
よろしくお願いいたします。



産婦人科

野村 郁哉

10月より着任しました、産婦人科の野村です。
飛騨地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。



内科

谷口 裕紀

10月より着任しました、内科の谷口です。
飛騨地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。



救急部

西尾 紋音

10月から着任しました救急部の西尾紋音と申します。
飛騨地域の救急医療に少しでもお役に立てるよう、精一杯頑張ります。高山は自然豊かで、食事や温泉など魅力がいっぱいなので短い間ですが満喫できればと思っています。半年間よろしくお願い申し上げます。



外科

松本 圭太

岐阜市民病院より10月から嫡子しました松本です。
趣味はフットサル、スポーツ観戦です。飛騨地方の医療に貢献できるよう頑張ります。
よろしくお願いいたします。



栄養課おすすめ！簡単レシピ

どて煮 栄養量(全量・煮汁こみ)・エネルギー1570kcal・たんぱく質128.4g・脂質100.2g・炭水化物61.7g・塩分8.2g

材料(作りやすい分量)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ●豚ボイルもつ..... 640g | ●葱(青い部分)..... 5センチ位 |
| ●牛すじ(ゆでた後の正味)..... 160g | ●水..... 600cc |
| ●酒(下処理用)..... 50cc | ●酒..... 100cc |
| ●板こんにゃく... 1枚(250g) | ●赤味噌..... 60g |
| ●刻み葱..... 適量 | ●三温糖(なければ上白糖)..... 大さじ4 |
| | ●すりおろし生姜..... 適量(なくても) |
| | ●すりおろしにんにく..... 適量(なくても) |



下準備

- 豚ボイルもつ...① 鍋に湯を沸かし、豚ボイルもつを5分程度茹でて、水で洗ってざるにあげる。
- 牛すじ...①水で軽く洗う。②鍋に牛すじ(分量より多く準備しておく。次はこの部分が省略できます)を入れて肉が隠れる位水を入れ、酒(25cc)を入れて火にかける。③沸騰したら中火にしてあくをとる。そのまま10分茹でたらお湯を捨て牛すじと鍋をあらう。④牛すじを食べやすい大きさに切って鍋にいれ、水、酒(25cc)をいれあくが出るまでゆで、あくをとりざるにあけ牛すじをあらう。⑤④でもしあくがたくさん出るようなら④の作業をもう一度行う。
- 板こんにゃく...①こんにゃくは好きな大きさに手でちぎる(又は包丁で一口大カット)②①を下茹でしておく

作り方

- ①圧力鍋に下処理済の豚もつ、牛すじ、★を入れ混ぜて蓋をし加圧(高压)する。圧力がかかったら弱火にして20分。その後火を止め圧力が下がるのを待つ ②蓋を開けて下処理済のこんにゃくをいれて10分くらい煮込んで完成。 ③食べるときに刻み葱をかけて出来上がり!

ワンポイント

・牛すじを入れることでうま味アップ。割合は豚もつ4に対して牛すじ1です。 ・にんにくやしょうがは好みに合わせて入れなくても入れてもおいしいです。 ・味をみてたりなければしょうゆを足したりしてアレンジしてみてください。 ・こんにゃくその他大根をいれてもOK。

高山赤十字病院 職員募集

日本赤十字社



Uターン地元就職者大歓迎!
新しい一歩をサポートします!

募集状況・要項は
当院ホームページを
ご確認ください。

詳しくはホームページへ



高山赤十字病院は令和4年11月1日当院は100周年を迎えました

外来のご案内

診療受付時間 午前8:30から午前11:00まで

診療開始時間 午前9:00

休診日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※ただし、救急の場合は24時間対応しております。

●電話予約センター ☎0120-214-489 受付時間:午前8:30から午後4:00まで

※ただし初診の電話予約には紹介状が必要です。紹介状のない方は、当日受付窓口へお越し下さい。

初診の方 診察申込票に必要事項をご記入の上保険証、紹介状等を添えて新患者受付へお出し下さい。

予約の方 予約票の時間にしがって直接受診科へお越し下さい。

受診の際は必ず保険証のご提示をお願いします。

「飛驒O₂の会」入会のご案内

当院では、在宅酸素療法患者さんの患者会「飛驒O₂の会」を発足し、活動しています。

病気に対する不安や意見を交換する会合や、交流の場を開くことによって、患者さん同士の親睦を図ることを目的に活動しています。

●活動:患者会総会、小旅行、語る会、親睦会、講演会、レクリエーション
(活動時は当院の医師、理学療法士、看護師、栄養士などが参加します)

●会費:年間1,000円

なお、会員は当院通院中の患者さんに限らせていただいております。入会の申し込みや詳しく聞いてみたいと思われる方は、健康相談室のスタッフにお問い合わせ下さい。

日本赤十字社

日本赤十字社

6

令和5年新春

発行 行:高山赤十字病院 岐阜県高山市天満町3-11
発行責任者:総務企画課

TEL/0577-32-1111(代) FAX/0577-34-4155

URL: <http://www.takayama.jrc.or.jp/>